

# 読書のまち・かわさき通信 No.60



読書のまちかわさき

読書のまち・かわさき事業推進委員会 会長  
川崎市教育委員会 学校教育部 指導課長

2013. 4. 17発行

## たくさん読んで大きくなあれ



2013・第55回こどもの読書週間  
4/23～5/12



子どもたちにもっと本を！との願いから、「こどもの読書週間」は1959年(昭和34年)にはじまりました。

もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間(5月1日～14日)でしたが、2000年より、今の4月23日(世界本の日・子ども読書の日)～5月12日になりました。

小さいときから本を読む楽しさを知っていることは、子どもが大きくなるためにとても大切なことです。「こどもの読書週間」のあいだ、図書館や本屋さん、学校などでは、読み聞かせや人形劇などの楽しい行事がたくさん行われます。「こどもの読書週間」は、大人が本を子どもに手わたす週間でもあります。また、子どもに読書を勧めるだけでなく、大人にとっても子どもの読書の大切さを考えることができる、それが「こどもの読書週間」です。

## 4月23日は「子ども読書の日」です！



広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を高めるために、平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定され4月23日が「子ども読書の日」と定められています。この日には文部科学省がフォーラムを開催し、読書活動優秀実践の学校・図書館・団体を表彰しています。

川崎市では、各区の市立図書館等で「春のおはなし会」や「人形劇」などが催されます。

川崎駅東口アゼリア地下通路のショーウィンドーにも市立図書館の紹介など展示されます。

## 学校図書館ガイドブック&かわさき子ども読書100選のご活用を！

学校図書館の役割・機能を高め、各学校の創意工夫ある活動を充実発展させるために『学校図書館ガイドブック』を作成し、活用してきました。以降10年近くが経ち、学校図書館コーディネーターや多くの図書ボランティアのみなさんが学校図書館の運営に携わってくださるようになり、小学校・中学校の学校図書館運営も充実してきています。そして今後も、学校図書館が、児童生徒が自ら学ぶ「学習・情報センター」として、また、豊かな感性や情操をはぐくむ「読書センター」として、さらに機能を発揮することが期待されています。そこで現在、学校図書館運営にさらに役立ててもらうために、『学校図書館ガイドブック』の改訂をすすめているところです。学校図書館運営に携わるみなさん、平成26年度に完成した折にはぜひご活用ください。



また、子どもたちに本を手にしてほしいという願いを込めて、これまで乳幼児向け絵本のリスト『えほんだいすき』をはじめとして、『かわさき子ども読書100選』小学生版・中学生版を発行しています。そして小学生版をさらに使いやすくするために、新たな本を加えて低学年版と高学年版に分冊にし、それぞれの学年に応じた内容や読みやすさなどを考慮して発行する準備をすすめているところです。また中学生版の『100選』の中には、「現在、手に入りづらくなっている本」もあるため、新たに4冊の本を紹介することになりました。中学生版については今年度も夏休み前に、1年生を対象に配付する予定です。ぜひ楽しみにしてください。

『かわさき子ども読書100選』は川崎市総合教育センターのホームページにもリストが掲載されています。『かわさき子ども読書100選』をきっかけに、みなさんの本の世界がさらに大きく広がることを願っています。

### 平成25年度 読書のまち・かわさき 主な事業計画

- ★こども読書週間 4月23日(火)～5月12日(日)  
・読書啓発活動 ※子ども読書の日
- ★かわさき読書週間 10月27日(日)～11月9日(土)  
・各学校での読書活動の推進  
・各区公共図書館での読書イベントの開催(読み聞かせ・おはなし会等)  
・読書週間ポスター・チラシ配布
- ★かわさき読書の日のつどい 11月3日(日) 中原市民館
- ★かわさきフロンターレと本を読もう事業
- ★子ども読書カレンダー配布 など

※他にもたくさんの事業を計画しています。